

# 年頭のごあいさつ



熊本県国民健康保険団体連合会

理事長 大西 一 史

平成 30 年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

皆さま方には、日頃から本会の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国保制度におきましては、被保険者の年齢構成上、中高年齢者が多く、医療費の増嵩が年々著しいことや、就労形態の変化によって所得に占める保険料（税）の負担率が高くなるなど、数多くの構造的な問題を抱えており、その財政運営は極めて厳しいものとなっております。

そのような中、国においては、より安定した財政基盤の構築のため、平成 27 年に国民健康保険法等を改正し、国保制度の改革が進められてきました。

このような状況を踏まえ、本会では、国保事業納付金試算のためのデータ提供や新たな事務共同化の検討などに取り組んできたところでございます。

新たに迎えました本年は、県が新たに国保財政の責任主体として参画するなど、新しい制度がスタートする重要な年になります。

本会としましては、新制度への移行に向けて、今後も引き続き、さまざまなデータの分析・提供等を行い、新国保制度の円滑な運営のための保険者支援等に取り組んでまいります。

また、国が推進する ICT 等の活用につきまして、さらなる進展が予想されるところであり、本会としましても、まずは保険者におけるデータヘルス事業の効果的な取り組みを支援するため、データヘルス計画の策定に係る技術的支援の充実等に努めてまいりたいと考えております。

さらには、基幹業務である診療報酬の審査支払業務に関して、昨年、国保中央会と共同で「国保審査業務充実・高度化基本計画」を策定したところであり、今後、その具体化に向けて検討を進めてまいります。

今後も、県内保険者の負託に応え、国民皆保険を支える一翼を担っていくために、これからの業務環境の変化を的確に捉えていくとともに、組織体制の充実強化と職員の意識の向上を図りながら、さらに努力してまいりたいと考えておりますので、皆さま方におかれましては、本会に対し、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますことを祈念申し上げます。まして、新年のごあいさつといたします。